

ダイヤモンドランキングの手法を学ぼう！

日常のPTA活動（学級懇談や部会等）で活用できるワークショップの一つ

この活動のねらい

自分の思いや意見を自由に出せる雰囲気の中で、お互いの意見の違いを認め共有しながら作業を進め、まとめていくことの楽しさを実感する

A、Bの2グループに分かれて、自己紹介。(各5～6人程度)

アイスブレイキングとして簡単なゲーム

「こんな子に育ててほしい」ということを附箋に書き出す。

元気

明るい

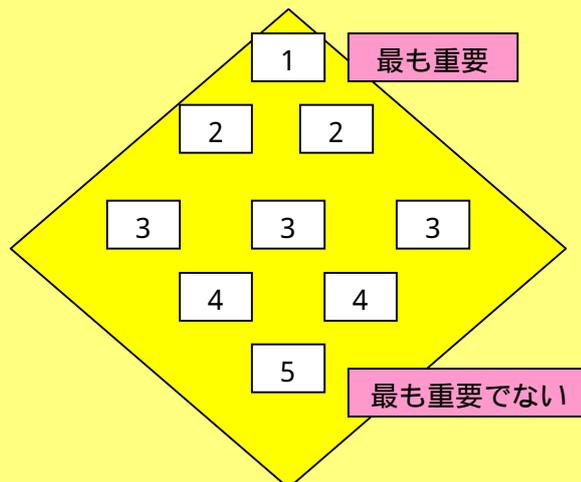
優しい

ルールを守る

などなど・・・

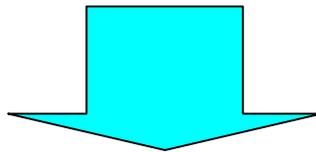
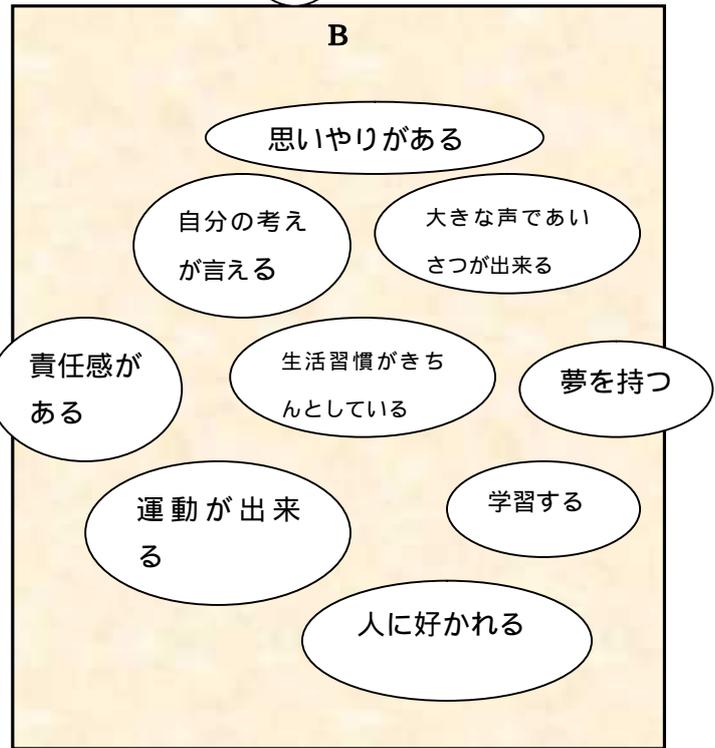
グループ内で一人ずつ思いを語りながら出し合い、全部出たら、それを類型化して、9つにまとめ、新たに9つのカードに書き込む。

まとまった9つについて、自分たちの意見を出し合い、みんなが同意した優先順位に従って、最も重要な意見を1つ、2番目に重要な意見を2つ、3番目を3つ、4番目を2つ、最も重要でない意見を1つ選んで下図のようにダイヤモンド型に並べる。





A、Bグループ
では、こんな意見
が出ました。



最後に・・・

各グループの代表が、ランキング1位と最下位について、どんな話し合いの過程で決まったのか説明する。また、時間があれば、グループ内で意見が食い違ったカードについてもその理由等を説明する。

まとめ

年度当初、学級を開くに当たって、担任の先生は、自分の思いや子どもたちの思いをまとめながら学級目標を作り上げていく。親も、「こんな子に育ててほしい」という思いを先生に伝えることが大切だが、親一人一人の様々な思いすべてに応える学級経営は難しい。学級の子どもたちをどう育てるのかについて、親同士で意見交換することはとても大切なこと。

親として、どんな子どもたちを育てたいのかを、ワークショップで考えていく方法の一つとして効果的な手法である。